

# 福生三中だより

令和5年11月1日発行 No.8

## 学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節



## 「創立50周年記念式典」を終えて

校長 植村 多岐

10月28日(土)福生第三中学校創立50周年記念式典が、午前の音楽会に引き続き、多くのご来賓の方々のご臨席とPTA・地域の皆様の多大なるご協力のお陰で無事終わりました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

～【校長式辞】より一部抜粋～

「花は決して、一人では開かない。春風を受けて開く」三中の創立50周年を考えるたびに私は、高僧、道元のこの言葉を思い出します。50年という長きに渡ってたくさんの方々がこの「春風」となって本校を温かく包み込んでくださいました。そのお陰で今の三中があります。

この50年間、福生市、市議会、教育委員会からの支援にはじまり、常に学校を励まし援助してくださったPTAの方々、地域の方々、CS委員の方々。そして、その支援の下に良き伝統を築き上げた6,250名の卒業生。また、粘り強く指導を重ねていただいた多くの先生方など、まさに三中は温かい「春風」の渦の中で50年間すくすくと育ってきました。

現在の本校は、親子二代はもちろん三代が通う学校になり始めました。地域が安定し、地域の皆様の変わらぬ愛を一身に受け、生徒は常に見守られて育っていることを強く感じます。今回作成した創立50周年の横断幕には「私達は、いつまでも一緒に歩いて行こう」という、生徒からの熱いメッセージがあります。三中は親から子へ、子から孫へと歴史が続いて行くようにコミュニティ・スクールとしていつまでも多くの人達と一緒に歩く日々を、共に生きる「共生」を大切にしていきたいです。そして、ふるさとの学校として家庭・地域と連携し、「春風」を受け取る人から「春風」を吹かせる人へと、成長できる教育実践を進めていきたいと考えています。

最後に、生徒の皆さん、皆さんの中学校生活は短くたったの3年間ですが、卒業すると地域には「私も三中出身です」という6,250名の心強い先輩がおられます。その多くの人達とともに、これからもこの地域で生きることを「誇り」にしてください。

三中は本日50年の伝統を誇れる学校となりました。この伝統には三中を「こんな学校であってほしい。こんな学校にしたい」という、開校当時からの先人の願いがあります。その願いを受け継ぐためには、生徒の皆さんが今を全力で生きることが一番大切です。どんな時でも「共生」の心で他人を思いやり、生涯にわたって学ぶ心を持ち続け、三中卒業生として「自立」した人間として世の中を力強く切り拓(ひら)く人となってください。

創立50周年を迎えるにあたり、これまで本校教育活動の発展にご尽力いただきました全ての皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも一層の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げ、校長式辞といたします。

式典では感激することがたくさんありました。第1部の厳粛な式典にふさわしい態度で臨んでくれた三中生、素晴らしかったです。そして、圧巻だったのは、第2部の実行委員を中心とした「アトラクション」でした。3年生を中心に客席からタイミングよく応援のかけ声も飛び交い、生徒全員でこの式典を作り上げようという気持ちが随所に伺えました。また、大地讃頌・ふるさと・校歌と全校合唱も心がこもっていて、多くの方から「三中生すごいね、感動しました。もっと聞きたかった。」とお褒(ほ)めの言葉をたくさんいただきました。本気でよいものを目指したからこそ、よい結果になったのだと思います。皆さんの努力で三中の50歳の誕生日を気持ちよくお祝いできました。お疲れ様でした。

音楽会 金賞おめでとう！

3年2組  
2年1組  
1年1組



イメージ画 優秀賞おめでとう！

3年1組 上野 凌空さん  
2年2組 河野 伊吹さん  
1年3組 オティエノ ミシェル ネリーさん

### 音楽会



### イメージ画



### 記念式典



### 新生徒会本部役員

10月16日(月)の生徒会朝礼で下記生徒会役員が、校長先生から委嘱状を受け取りました。

会長 2年1組 川端 咲姫さん

副会長 2年2組 古川 由唯さん 1年1組 谷口 大和さん

書記 2年2組 谷部 唯夏さん 1年1組 桐野 暖雪さん 1年2組 小俣 美空さん